

手稲山口 地域協議会だより 第1号

12月5日に第1回手稲山口地域協議会を開催しました。

第1回協議会は、手稲山口地区の住民等8名が参加し、協議会の規約、今後の協議会の進め方などについて話し合いを行いました。

合わせて、鉄道・運輸機構から受入地の工事状況と今後の予定について説明が行われました。

協議会では、工事に関する質問のほか、地域振興に関するご意見もいただきました。



【協議会での主なご意見】

- ・協議会は地域の会議なので、メンバーは山口地域の方とし、今後にも必要に応じて随時変更（追加・入替）を行う。
- ・若い人にもメンバーになってもらいたい。
- ・活動内容は外部に発信することが必要。
- ・候補地から受入地に決定するまで期間が短く性急な印象を受ける。
- ・対策土の搬入が開始されたら、新たな意見があるかもしれない。
- ・地域に住む住民は、対策土受入れについて賛成の人はいない。しかし、北海道新幹線は国策であり、札幌市民のために整備されるものなので、仕方がないという思いもある。対策土を受入れる以上は、地域のためになるよう検討してほしい。
- ・農業振興地域の指定の個別解除について検討してほしい。
- ・道の駅建設について検討してほしい。

今後の会議は、3か月に1回程度開催する予定です。

手稲山口地域協議会とは

手稲山口地区の北海道新幹線トンネル発生土受入地への発生土の受入れにあたり、工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的に設置するものです。山口西町内会、山口東町内会から推薦された住民等で構成されます。事務局として札幌市新幹線推進室と北海道新幹線の建設主体である鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局が参加しています。

